

あんじょう協働 リビングラボ

NEWS LETTER

1

7月20日、土曜日の午前、市民交流センター2階多目的ホールで「あんじょう協働リビングラボ」の第1回を開催しました。参加者は、市民と事務局スタッフを含め28人でした。

この日のテーマは「お互いを知ろう!」。会の趣旨や目指すゴールなどを確認後、参加者同士の関係性づくりからスタート!

休憩を挟んで後半は、「リビングラボって?」を学んだあと、5グループに分かれて、安城の「強み・魅力」と「弱み・課題」、「わたしたちができること」についてアイデアを出し合い、全体で発表・共有しました。



1. オープニング

市民生活部次長兼
市民協働課長の早水さん



現代社会は…複雑かつ不確実性が高く、地域課題や行政課題解決のためには、多様な主体によるマルチパートナーシップが求められています。

安城市が…この3月に策定した「第3次市民協働推進計画」では「あんじょう協働リビングラボ」をその手法の一つとして位置づけており、ここに多様な方が集まり、対話や活動を通じて新たなアイデアやつながりが生まれることを期待しています!

市民協働課
幸田さん



「市民協働」は…地域の課題解決のため、市民、町内会などの地域団体、市民活動団体、事業者、市が、それぞれの特性を生かして補完し合い、協力すること。つまり、「同じ目的に向かって、お互いができることを一緒にやりましょう」ということです。

第3次安城市市民協働推進計画では…このリビングラボをマルチパートナーシップの促進策として事業に位置付けています。様々な方が集まってアイデアや方策、新たな価値を生み出す機会となることを目指します。まずは、難しく考えないで、楽しんで参加していただけたらと思います!

2. アイスブレイク

簡単なゲームや自己紹介等を通して、参加者同士の関係性づくり。対話をする上で大切な「聴き方」のコツについても学びました。



3. プチガイダンス

「リビングラボって、なあに?」

今年度の進め方を確認したあと、富士通が取り組んでいるリビングラボの取り組みを紹介する短い動画を見ました。また、去年度の「あんじょう協働リビングラボ」や他市町のリビングラボで生まれた活動の様子なども聞きました。

いろんな人が集って
自分達のまちを
どんなまちにしたいか
話し合っって…

気軽に身近な活動に
参加して、地域の人と
仲良くなったり
まちのことを知って…

自分のまちを
自分たちの手で
よくする!

心に秘めるだけでなく
アクションを起こさないと
実現しない!

未来と一緒に
つくっちゃおう!



4. グループワーク「あんじょうの現在地って、どんな感じ？」

5班に分かれ、安城の「ココはイネ！（強み・魅力）」と「ココどうかな？（弱み・課題）」、さらに「私たちができることって？」をテーマに付箋にアイデアを書いて共有しながら意見交換。最後に全体で発表し合いました。

いグループ



バスが使いにくい。ららぽーとによる渋滞の懸念や、アンフォーレの駐車場問題などを解決する鍵は「あんくるバス」が握っているのではないかと考えました。

また老若男女が集う公園も、様々なカギを握っている。多目的トイレや段差などの情報を載せたバリアフリーマップがあれば、出掛けるきっかけにもなり、周辺の治安も良くなるのでは。私たちはその情報を市に届けることができればいいと思いました。



ろグループ

WEB 関係に強い人、ツアコンができる人、市の資源に詳しい人がいたので、情報発信に弱い安城市の課題を私たちの力で解決できるのではないかと考えました。まずは、強みや市民に何が知られていないかを「調べる」ところから始め、「WEB や SNS で発信するテーマを決定」、それを「ツアコンやイベント企画」にし、「施設にどうアプローチしていくか」考える『アクションプラン』を立てられるのではないかといいところまで話し合いました！情報格差があることが問題。



はグループ

休耕田・田畑が市内にたくさんある、という課題に対し、田畑を持つ人と栽培したい人をつなぐことができるんじゃないか。安城市はいい所がたくさんあるのにPRが下手。それに対して、SNSの活用やドラマの誘致ができたらいい。若者をこういった場に巻き込むために、SNS 発信や街コン、マッチング、町内会とのコラボなどでUD（アップデート）できたら！という話をしました。



にグループ

「伸びしろしかない！」…居場所がないとか文化に弱いと言った課題は、居場所をつくったり、交流したりしていけば、問題解決していくんじゃないか。また、駅から近く、人口も多いし、意外と市がお金持っているらしいので、安城市は「意外にスペックが高い」。「シニアもハッピー」に暮らしてるが、市街地でない人は移動手段に苦労されているので、「あんくるタクシー」のようなものが活性化するといいのでは！



ほグループ



人が集まる「七夕まつり」をうまく使っていくといいのでは？また市民交流センターがあまり知られていないという課題に対しては、実際に利用している人の感想を共有したり、情報発信して循環させていくといいかも。グレー（制度のスキマ）の人達への対策が不足しているので小さな声を拾っていくこと、若い世代の声を拾っていくことが大事なんじゃないかと話し合いました！

ひとことアンケートより

さまざまな考えや思い、自分では思いつかないアイデアがあふれる会で、良い刺激をもらえました。今後が楽しみです／人が集まって話をすると、いろんなアイデアが生まれ気づきが生まれると思いました／安城市を良くしたい、何か活動がしたいという気持ちを忘れず一歩ずつ動いていきたいです／新しい出会いがあり楽しかったです！ ほか

【発行・問合せ先】

安城市役所 市民協働課

TEL 0566-71-2218

✉ kyodo@city.anjo.lg.jp

※8:30~17:15（土日祝日を除く）